



公民館報

海陽

4月号
No.108

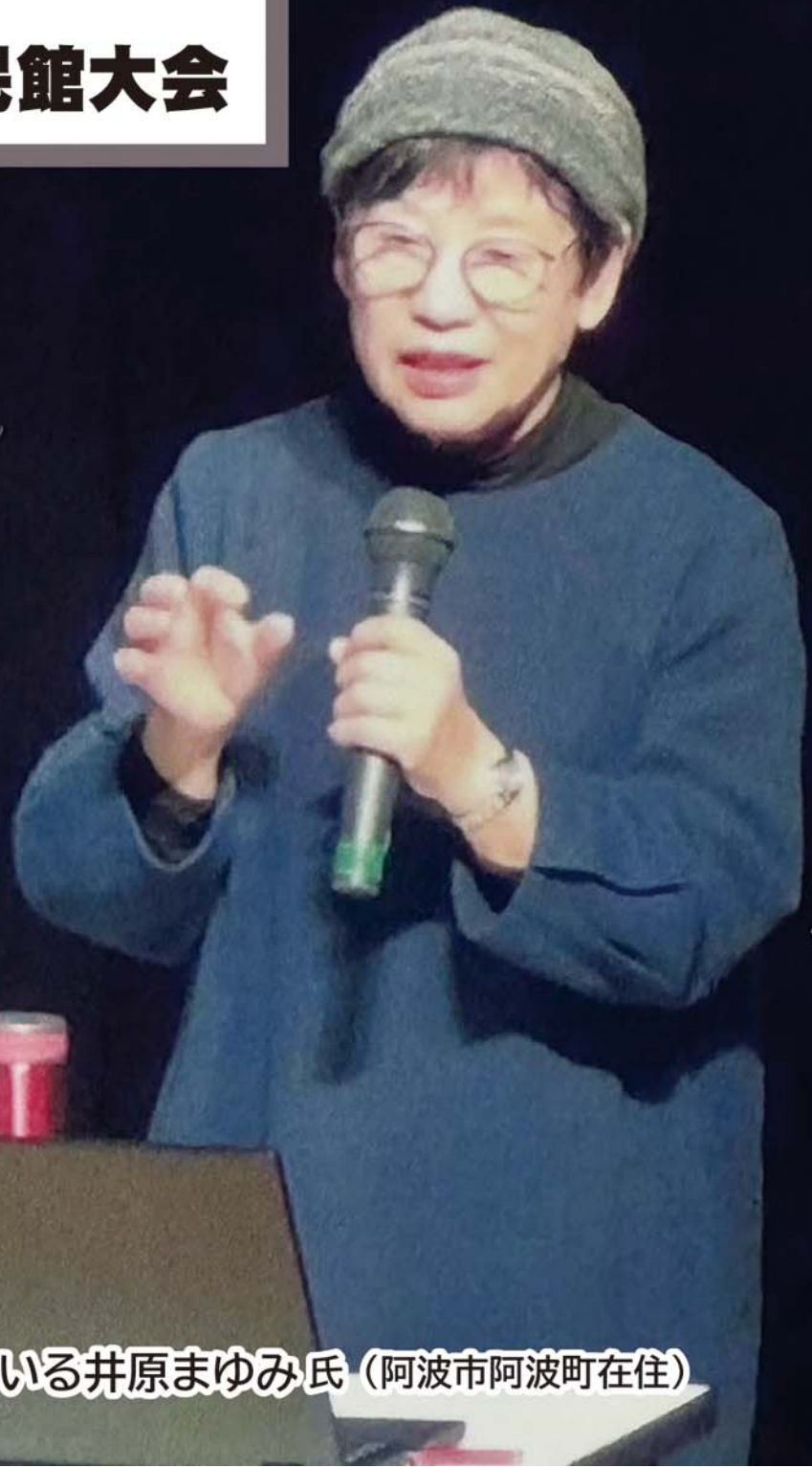
文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2026年4月1日発行

令和7年度 海陽町公民館大会



講演を行っている井原まゆみ氏（阿波市阿波町在住）

令和7年度 海陽町公民館大会

テーマ：「未来につなぎ、ひろげる公民館」～今、公民館にできること～



海陽町公民館 宙木 和幾 館長

令和8年3月1日(日)、朝から青空が広がり、「未来につなぎ、ひろげる公民館」～今、公民館にできること～をテーマに、令和7年度公民館大会が海南文化館で開催されました。

午前9時30分からホールで開会行事が行われ、海陽町公民館の由木和幾館長が、日頃公民館活動にご協力いただいていることに感謝の意を表し、「午前の講演会は、阿波市から井原まゆみさんをお迎えし、子どもから高

齢者までが参加する町づくりの話を聴き、午後から行われる分館交流芸能大会まで、皆さまと一日楽しく過ごしましょう」とあいさつされました。

続いて、三浦町長が祝辞を披露し、最初に、3月31日に合併20周年を迎える海陽町を「より元気にし、未来に希望を持てる地域づくり」に取り組まねばならないことに触れられ、「そして、この後お話ししていただく講演会で、『身近な場所を素敵に変えることで、魅力ある地域にしよう』と考えられた井原様のように、海陽町も未来の町の姿を想像して、ランドデザインを描き、みんなが同じ目標に向かって進んで行きましょう」と力強いお祝いの言葉をいただきました。

開会行事の後、まず穴喰公民館久尾分館長の石本恭之氏が、「久尾秋祭りのみこしの復活」と題して発表しました。令和5年度より実施している海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助金事業を活用した取り組みの報告



復活した久尾のみこし



石本 恭之氏 発表の様子

創る「素敵な未来を創る」地域をつくる「社会活動」と題する講演会が行われました。その舞台は、阿波市阿波町の元町エリアという限定した場所にありました。役場で公民館職員として働かれていた時代から、まちづく

部落住民と移住者達とが融合する形で祭りが実現したことを、映像を織り交ぜて詳しく説明しました。祭りには、この自然豊かな美しい海陽町を多くのの人に知ってもらい、住民と移住者が友達になれる効果があり、部落の未来には若い力が必要であることを述べました。また久尾部落を流れる野根川の鮎が、昨年9月、全国のアユを食べ比べる「利き鮎会」で準グランプリに選ばれた話題を提供し、地域住民と共に若い力を合わせ、川を守っていく事の大切さを伝えました。続いてNPO法人 阿波みらい創生社 代表理事の井原まゆみ氏による「素敵な未来を創る」地域をつくる「社会活動」と題する講演会が行われました。その舞台は、阿波市阿波町の元町エリアという限定した場所にありました。役場で公民館職員として働かれていた時代から、まちづく

りが好きであったという井原さん。この夢を具体的なカタチにしてこられた時間を記録した、一枚一枚の思い出が詰まったスライドの画面を見ながら、解説していただきました。

最初のキーワードは、人口の減少への対策です。阿波町も海陽町も、人口の減少という同じ問題を抱えています。そのため、将来のまちづくりは、未来の姿を想像して、まだ余力のあるうちに「身近な場所を素敵に変えること」で、魅力のある地域にしたいと考えられました。人が減っても幸せに暮らせるまちづくりの基本は、予測よりも人口は減らないかもしれないという希望を持って、素敵で楽しいまちをみんなで作る努力をコツコツと続けることにあり、たくさん素敵な場所を創るとシビックプライド（郷土愛）が

目標
素敵な未来を創る

特徴

- 常に少し先を考えています
- 決断が速い
- あれこれ無駄に悩まない
- よく勉強する(人・本・旅)
- 影響を受けやすく、行動派
- 成功すると思えば必死
- 問題意識、好奇心が強い
- 『まちづくり』が趣味です

井原まゆみ (76歳)

- ♡NPO法人あわみらい創生社 (2016年設立) 代表理事
- ♡前阿波町役場職員 (29年間)
- ♡イタリアンジェラート
- ♡ドルチェ創業者
- ♡60歳でドルチェを退職
- ♡63歳からまちづくりに邁進



井原 まゆみ氏 講演の様子

持てる効果が見え始めます。これまでまちを素敵にする数々のプロジェクトに挑戦されてきました。シビック（市民）プライド（誇り）とは、住んでいるまち（地域）が大好きで誇りに思い、まちがもっと良くなるように自分自身が関わって行くことです。

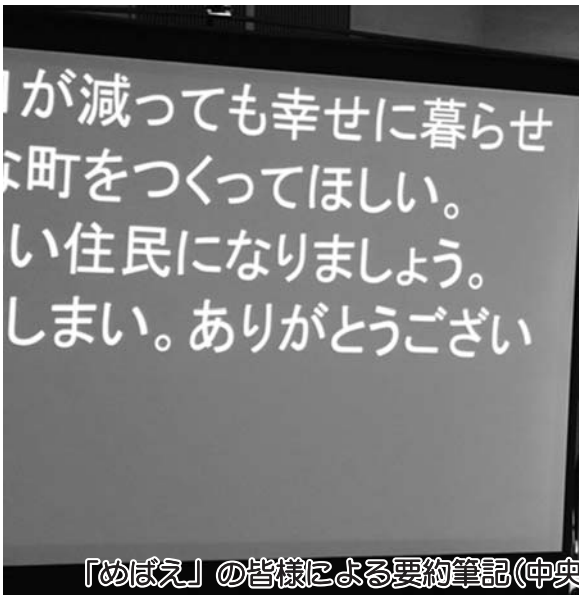
として、今回初めて事例発表を行いました。過疎化がきわめて深刻な久尾部落において、30年余りの間秋祭りのみこしが出なかつたことを憂い、補助金を活用し、昨年度よりみこしを復活させました。



講演質疑の様子

役場と町民が丸となったピオ
トープづくりの挑戦後に起きた
^に苦い経験を糧に、「森の管理人」
の大人たちと、「キッズまちプロ」
の子どもたちがそれぞれの得意
分野で「妖精の村」を創り上げ
たストーリーは、もつとも重要
な取り組み事例として印象的
でした。

子どもたちにもまちづくりが
できるんだという自信を持って
もらい、大人といっしょに夢を
功体験は、まちづくりに
さらなる関心を深め、地
元の高校から進学した大
学では地域政策学科の地
域づくりコースで学び、
故郷に帰り、再びまちづ
くりに取り組む若者を生
む良い循環が始まりまし
た。



「めばえ」の皆様による要約筆記(中央の画面)

カタチにできた経験
は、郷土愛を育てる
大切なポイントです。
クラウンドファンデー
ングで集めた資金を
使って、「冬の妖精
の村をキラキラさせ
たいイルミネーショ
ンプロジェクト」で
は、子どもたちが点
灯式を運営していま
す。妖精の
村の素敵な
イルミネー
ションの成

抜く作業(ウィーディング)や
花を道沿いに植え込む作業と、
ガーデニングの魅力を町に広め、
「庭育」の面白さをご教示いた
けたこと。コロナ禍においては
お互いに助け合いながら地域を
守る活動に取り組まれていた様
子がよく分かりました。
午後の分館交流芸能大会には、
地区公民館から総勢十の団体と
個人が出演し、会場を沸かせる

熱演を繰り広げました。最後は
ラッキー賞の抽選会を行い、賑
やかな一日となりました。
エントランスロビーでは、人
権啓発のパネル作品やビデオを
自由に視聴いただき、共楽運動
会の写真などの展示を通じて、
来場者の方々に海陽町全体での
公民館活動の様子的一端をお知
らせしました。
最後になりましたが、要約筆
記サークル「めばえ」の皆様
は、一日を通じて字幕表記を会
場の方々に提供いただきました。
本年度も関係者すべての方々と
参加者の皆さま方に、心からお
礼を申し上げます。

▼問い合わせ

海陽町公民館 (海南文化館内)

電話 73-3100



【海陽町公民館大会アンケートより】**公民館大会の内容はいかがでしたか。**

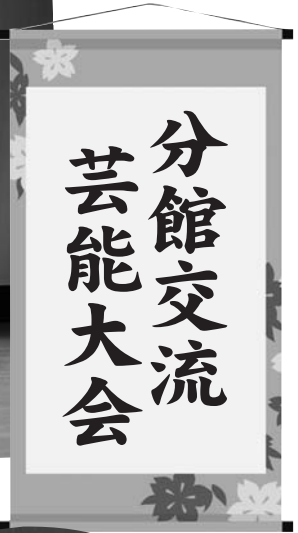
- ・最初の登壇者が全員男性でおどろきました。海陽町は元気でリーダーシップのある女性が多いと思うのに、要職はまだまだ男性なんです～ 井原さんみたいなステキな女性（海陽町にもいらっしゃいますよね！）をもっともっと応援して、中心にしていきたいと思います。（穴喰・40代）
- ・初めての参加です。以前の事はあまりわかりませんが石本さんのまつりのお話が良かった。自分達の集落でも、人口減少等でまつり、運動会等なくなっているので身にせまる話であった。（川上・70代）
- ・井原さんの故郷に対する熱い思いに心を打たれました。ツリーハウスにはじまり、ダイバーシティ、ユニバーサルデザインにまでグローバルに目を向ける姿、尊敬します。（中略）「まちはだれでもすてきに変えられる」今年のスローガンを私も大切にしたいと思います。（海部・60代）
- ・お二人共すごい前向きで行動力があります。お歳がいくのをなるべく生活するのではなく、出来ることを声かけして行動に移した（のは）すごいと思った。（川東・70代）
- ・久尾の発表はとてもよかったが、阿波市は他市のことなので、あまりピンとこない。地域差があるので同じようにはいかないと思う。（川東・70代）
- ・田んぼ → いこいの場所 子供達の活やく（アイデアすばらしい）（川東・70代）
- ・デジタル画面、わかりやすくて良かったです。ありがとう。（海部・70代）
- ・満足と言うことはを通りこすすばらしい!! の一声です。井原さんのエネルギーにおどろきました。井原さんのパワーの1000分の1でもやってみたいと思いました。（川上・70代）
- ・久尾の秋祭りのみこしの復活のお話しが良かったです。ダンシングヒーロー良かったです。（海部・60代）

講演を聴いて公民館活動に活かしたい好きなことがあれば教えてください。

- ・キッズまちプロのような取組というか… 公民館に子どもも集まって好きなことを出来る雰囲気（活動）があればよいと思います。（穴喰・40代）
- ・シビックプライド 阿波町はステキやわ～ 海陽町ガンバラないと（穴喰・70代）
- ・海陽町を好きになるように、いいところをさがす。仲間を集める（チームを作る）。会話をする。自分のできる事をさがす。楽しく作業をする。食事会、反省会、意見を聞く場を作る。（浅川・60代）
- ・講演でなくテーブルを囲んで話しをしたい。（浅川・70代）
- ・家の回りや地域をキレイにしたいと思った。（穴喰・60代）
- ・「やる気」「勇氣」「根気」→「まちが元気に」結局気持ちの積み重ねが大切（海部・60代）
- ・阿波市の町づくりを参考に海陽町も、もっと面しろい町にしていきたいと思いました。（穴喰・40代）
- ・ウィーディングをやってみたいと思います。（川上・70代）



穴喰民踊クラブによるみかん踊り



カラオケ



四方原公民館による今治大黒舞



前田公民館によるダンシングヒーロー



ちよっけるダンサーズによる高山ちよける

全国公民館研究集会東京大会に参加しました



本町参加者

11月12日(水)～13日(木)、『第47回全国公民館研究集会東京大会』(会場：千代田区丸の内の東京国際フォーラム)に、海陽町から5名が参加しました。毎年開催されるこの全国公民館研究集会は、7年に一度、東京で開催されています。当日は各都道府県より、公民館関係者約1,080名が会場に集まりました。

大会テーマには「ミライにつながるひろげる公民館―公民館に新たなイノベ

ーションを！―」が掲げられました。「社会とつながり音楽がひろげる」では、アトラクションとして、就労支援B型の「ぽこ あ ぽこ」(イタリア語で「少しずつ」の意)の皆さんが奏でるハンドベルアンサンブルを鑑賞しました。メンバーが一致団結して奏でる音が場内に心地よく響きました。

コミュニティーデザイナー山崎亮さんの基調講演「地域のミライをひらく公民館」では、公民館的要素を取り入れて設計した施設の事例を紹介されました。

そこには、一つのキッチンを共有し、表側がカフェ、裏側が介護スペースに利用できる設計が取り入れられていました。アイデア次第で、高齢者から若者までが幅広く相互に利用できる、コストパフォーマンスの優れた施設を実現できることを教えていただきました。

ミライの公民館を予感させる施設の誕生を知って、今後はいろいろな世代の方が気軽に利用できる公民館を目指していく必要性を感じました。

令和8年度 海陽町文化協会会員募集について

令和8年度会員を募集しています。海陽町文化協会の会員になると、海陽町文化協会祭の作品展への出品や、芸能発表会への出演ができます。又、視察研修旅行の助成が受けられるメリットもあります。

阿波海南文化村 海南文化館受付窓口にて申込用紙がありますので、所定の年会費を添えて事務局までお申込みください。



申込先：海陽町文化協会事務局(海南文化館内) 電話 73-3100

切：令和8年4月15日(水)

第20回海陽町新春ふれあい駅伝大会

令和8年1月18日(日) 於：蛇王運動公園

1月18日(日)、「第20回海陽町新春ふれあい駅伝大会」が開催されました。朝から青空が広がる絶好のコンディションのもと、1部16チーム(小学生男子10チーム、小学生女子5チーム、オープン1チーム)2部39チーム(中高生男子15チーム、中高生女子5チーム、一般15チーム、オープン4チーム)の合計55チームが出場し、たすきをつなぎながらコースを駆け抜けました。沿道からは家族や友人、地域の皆さんのあたたかい声援が送られ、選手たちは最後まで全力の走りを見せていました。

今回は第20回という節目の記念大会となりました。そのため、ゲストランナーとして生光学園高等学校陸上競技部をお迎えし、競技に参加してもらうほか、監督の竹内恵梨さんからは開会式でコース攻略のアドバイスをいただきました。

閉会式では、上位入賞チームの表彰と区間賞の発表が行われ、会場は大きな拍手に包まれました。参加された選手の皆さん、運営にご協力いただいたの皆さん、そして応援に駆け付けてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

それぞれの走行距離は以下のとおりです。

1部：1・2・4・5区2km、3区1.5km、2部：1・5区2.5km、2・4区2km、3区1.5km



生光学園高校陸上競技部の皆さん



【団体表彰】

○小学生男子の部

	チーム名	タイム
第1位	F u n F C A	41:44
第2位	海 部 ク ラ ブ A	45:02
第3位	海 南 ホ ー ソ ズ	45:31

○小学生女子の部

	チーム名	タイム
第1位	2 0 2 5 SUGINOKO	46:11
第2位	穴 喰 J U M P	47:20
第3位	シークレット ガールズ	48:37

○中高生女子の部

	チーム名	タイム
第1位	日 和 佐 中 学 校 A	40:26
第2位	牟 岐 中 女 子 A	47:34
第3位	穴 喰 中 わ っ し ー	48:05

○中高生男子の部

	チーム名	タイム
第1位	海 部 高 校 野 球 部 E	36:14
第2位	海 部 高 校 野 球 部 A	38:13
第3位	海 部 高 校 野 球 部 C	38:52

○一般の部

	チーム名	タイム
第1位	T e a m B . O . R . O	32:35
第2位	パ ン デ パ パ	35:22
第3位	山 猿、海 陽 を 駆 け る !	37:04

【区間賞（一部）】

○小学生男子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	F u n F C A	坂本 絆樹	8 : 1 8
第2区	F u n F C A	百々洋ノ輔	8 : 5 2
第3区	F u n F C A	新田 耕大	6 : 4 5
第4区	F u n F C A	尾寄 詢真	8 : 4 1
	日和佐バロンズA	和佐 恭佑	8 : 4 1
第5区	海部川剣道教室	射場 夏嵩	8 : 4 5



○小学生女子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	穴喰 J U M P	田中 美舟	8 : 0 5
第2区	2025 SUGINOKO	櫛田 花心	1 0 : 0 7
第3区	牟岐体操クラブ	大野 栞愛	7 : 3 8
第4区	2025 SUGINOKO	山本 結李	1 0 : 2 7
第5区	2025 SUGINOKO	宗方 結愛	9 : 1 1



【区間賞（二部）】

○中高生男子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	海部高校野球部E	小畦裕次郎	8 : 1 3
第2区	海部高校野球部E	大東 昊平	6 : 4 7
第3区	海部高校野球部E	楠本 倖也	4 : 5 7
第4区	海部高校野球部E	藤本 樹	7 : 0 3
第5区	海陽中サッカー部	坂本 風樹	8 : 5 6



○中高生女子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	日和佐中学校A	野間はぐみ	9 : 0 5
第2区	日和佐中学校A	棚田 芽咲	8 : 2 7
第3区	日和佐中学校A	竹内 結吏	6 : 0 5
第4区	日和佐中学校A	篠原 心来	8 : 4 0
第5区	日和佐中学校A	兼松 花	1 0 : 1 4



○一般の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	T e a m B . O . R . O	奥田 龍星	7 : 2 2
第2区	T e a m B . O . R . O	池内 渉平	6 : 1 7
第3区	T e a m B . O . R . O	藤 柁貴	4 : 3 5
第4区	T e a m B . O . R . O	島田 健也	6 : 3 2
第5区	T e a m B . O . R . O	櫻田 智也	7 : 4 9

県中学校卓球新人大会 結果

鳴門アミノバリュウホール R8.1.11

【男子】 団体

2回戦 (抛) 海陽・穴喰 3-0 北島B
 3回戦 (抛) 海陽・穴喰 3-2 富田A
 4回戦 (抛) 海陽・穴喰 0-3 藍住A

【女子】 団体 準優勝

2回戦 (抛) 穴喰・海陽 3-0 北島B
 3回戦 (抛) 穴喰・海陽 3-0 羽ノ浦
 準々決勝 (抛) 穴喰・海陽 3-0 那賀川
 決勝リーグ ①城東3勝 ②穴喰2勝1敗
 ③高浦1勝2敗 ④藍住 3敗



男子第55回・女子第33回 徳島県中学新人駅伝競走大会 結果

鳴門・大塚スポーツパーク(周回コース) R8.2.11

○男子 (3 km)

オープン参加 海陽 47分23秒

坂本風樹②、尾寄壮真②、西谷滉智①、湊村 紬①
 10分22秒 10分36秒 12分11秒 14分14秒

○女子 (1・5区 3 km/ 2・3・4区 2 km)

オープン参加 海陽 38分21秒

勝浦なごみ①、木村香里奈②、岩本琉花①、大久保燈①
 11分15秒 8分58秒 9分00秒 9分8秒



有賀杯争奪剣道大会で海部川剣道教室が第3位に！



令和7年11月23日(日)、那賀川スポーツセンター(阿南市)で第8回有賀杯争奪剣道大会が開かれ、海部川剣道教室が高学年の部で団体第3位の成績を収めました。



(写真中央) 射場夏嵩 (海部小6年)
 (写真左) 古波凌一 (牟岐小6年)
 古波千奈 (牟岐小4年)

海陽町穴喰グラウンドゴルフ場完成記念大会



2月3日(火)に、旧穴喰商業高等学校跡地に整備した『海陽町穴喰グラウンドゴルフ場(海陽グラウンド・ゴルフパーク穴喰祇園コース)』の完成を記念して、初めてとなる大会が開催されました。

77名の参加があり、個人戦の8ホールで3ラウンド行いました。

起伏があるうえ、慣れていない初めてのコースに、最初は苦労していましたが、ホールインワンが出るたびに歓声が上がるなど、元気に最後までプレーしていました。

大会開催にあたり、グラウンド準備等にご尽力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。



大会結果		1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	ホールインワン	合計打数
優勝	富田 諫	20	15	20	3	55
準優勝	北川 昭子	22	17	20	1	59
第3位	木戸口律子	24	19	17	2	60



分館の
活動紹介

地域の宝「エノキの板根」を次世代へ

海陽町公民館五反田分館では、町の指定天然記念物である「エノキの板根（ばんこん）」をより多くの方に知っていただき、気軽に足を運んでもらえる場所にするため、この度「海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助事業」を活用した環境整備を実施いたしました。



エノキの板根と3歳児

エノキの板根は、熱帯植物のような板状の根が地上に露出する学術的にも非常に珍しい巨木です。しかし、自生地は大自然の中にあり、これまではアクセス路の雑草や雑木の繁茂により、辿り着くのが容易ではありませんでした。

今回の事業では、新たに誘導標識を設置するとともに、電動チェーンソーや草刈り機を導入し、アクセス路の枝払いや除草を徹底して行いました。見通しの良くなった道を抜けると、自然の力強さを感じさせる見事な板根が皆様を迎えてくれます。整備されたこの道を通り、ぜひ地域の誇る神秘的な姿を直接ご覧ください。今後もこの貴重な資源を次世代へ繋ぐべく、維持管理に努めてまいります。

五反田公民館長 丸岡 一洋

3月3日(火)

がいようこども園で
ひなまつりをしたよ!



3月4日(水)

劇団「すぎのこ」による人形劇
「かさじぞう」を見たよ!!

(がいようこども園&がいよう保育所)



人権啓発講演会

令和7年度 海陽町人権啓発講演会を開催しました

2月1日(日)に海南文化館ホールにおいて、令和7年度 海陽町人権啓発講演会を開催しました。

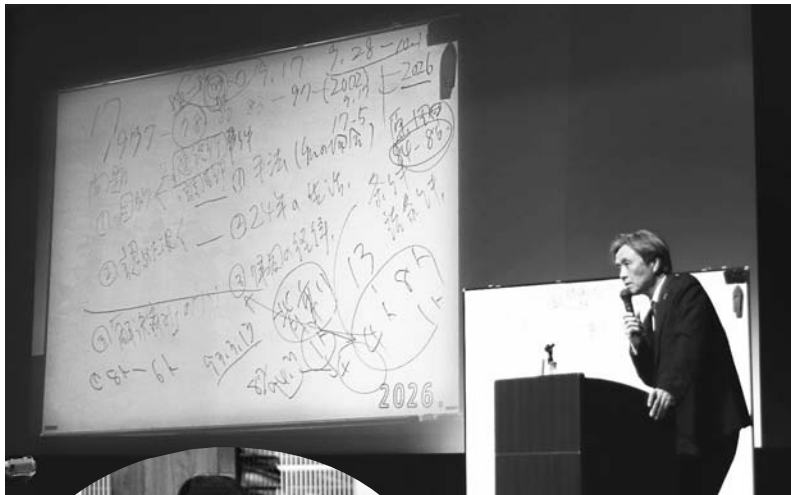
今年度は、北朝鮮による拉致問題について、町民の皆様にご認識を深めていただくため、拉致被害者である蓮池 薫氏(新潟産業大学経済学部特任教授)を講師にお招きし、「夢と絆～拉致が奪い去っていったもの～」と題してご講演いただきました。



蓮池 薫氏は、1978年(昭和53年)に新潟県柏崎市の海岸で拉致され、以後24年間に及び北朝鮮での生活を余儀なくされました。

講演会では、当事者だからこそ言える絶望感の中で生き抜いた実体験や拉致問題の経緯・現状など、テレビなどでは決して知り得ないお話もありました。

北朝鮮による拉致問題は、過去の事件ではなく、現在も継続する深刻な人権侵害事件です。



拉致問題の解決に向けて一番大事なことは、私たちが事件を忘れず、決して風化させないことです。一人ひとりが拉致問題への関心と認識を深めることにより、世論を盛り上げ、拉致被害者の一日も早い帰国に向けた力となることを切に願います。



当日は立ち見が出るほど、想定を上回る多くの方々にご来場いただき、大変ご不便をお掛けしましたことお詫び申し上げます。

講演会にご来場いただき、誠にありがとうございました。

2025(令和7年度)海陽町分館巡回人権学習会について(報告)

海陽町人権教育協議会

1. はじめに

昨年10月の約1ヶ月の期間で、町内30分館で分館巡回人権学習を開催しました。夜分にもかかわらず、たくさんの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。町内の多くの方々には様々な人権問題について理解し、考えていただく機会になればと思い実施しています。そして、海陽町がみなさん一人一人の人権が尊重される町として、つながりのある安心して生活できる居心地の良い町・コミュニティにつながればと願っています。この分館人権学習に参加されたみなさまからのアンケートを基に今回の研修会の報告をさせていただきます。

2. 分館人権学習について

- (1) 期 間 令和7年10月2日(木)～10月29日(水)
- (2) 場 所 各分館30分館(海南地区26, 海部2, 央喰2)
- (3) 時 間 午後7時30分～8:45分頃
- (4) 研修内容 ①「部落差別解消推進法・ヘイトスピーチ解消法」について
②「インターネット(SNS)による部落差別」について
③「インターネットによる部落差別と人権」のDVD『大切なひと』視聴
④意見交換会等
- (5) 参加者 ・地域の方々 283名 ・推進員研修 83名



3. 研修テーマ

「ネット社会における部落差別と人権」
～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～



4. 研修会後のアンケートより (一部抜粋)

- とても良いDVD教材だったので、地域だけでなく、学校の教材でも取り入れてほしい。
「部落差別」という言葉も、若い人に知って欲しいと思いました。
- 時代や社会状況にあった内容で、とても考えやすくよい学びとなりました。高齢の方が被害者となることも増えています。地域の声を聞いて、また、DVD等を決めてください。ありがとうございました。
- 海陽町が、毎年、各地域で人権について取り組んでいらっしゃることはとても良いと思います。参加できない方にも内容の啓発できるチャンスがあればと思いました。
- 毎回とても勉強になっています。日頃から人権意識を高めておくこと、差別に気付く感覚を持っておくことを大事にしていきたいです。
- 毎回様々なテーマで学び、考えることができ、有意義な研修会となっています。学んだことを、明日からの生活や人との関わりに生かしていきたいです。インターネットやAIと共存する時代なので、正しい知識を身に付け使っていきたいです。
- DVDがとても分かりやすかったです。特に動画配信など現代の社会問題とリンクするところもあったので、子どもたちにも見せたいと思いました。
- これからはネット社会なので、今現在、一番の人権問題です。子ども(小学生～高校生)のSNSを使っている子に見てもらおうと思う。大人(老人)も、SNSを使っている人もいない人も、周りの人が関わることがあるので、見て知っておく必要があると思います。
- 人権学習会にはかなり前に参加させていただいてから、久しぶりの参加でした。とてもためになりました。ありがとうございました。
- 同じ年代の子どもを育てている親として、とても身近な映画でした。Xやネットなど多くの事に関わっている現在の小学生や中学生にも観ていただけたらいいと思うとてもいい作品でした。
- SNSは見えないところでの情報発信の怖さがあり、マインドコントロールされる。昔の部落差別は無くなっても、デジタル化によりなくなる。
- 人の心を傷つけるような言葉や態度は、絶対あってはいけないのが人間としての基本だと思います。根本的には、教育の問題なのかなと思います。ネット社会の一番の問題点は、顔も出さずに何でもかけることだと思います。やはり教育が必要だと思います。
- 部落差別について、今も根強く残っていることを実感させられる研修でした。知らないことで人を傷つける子供にならないように、共に学び伝えていきたいです。



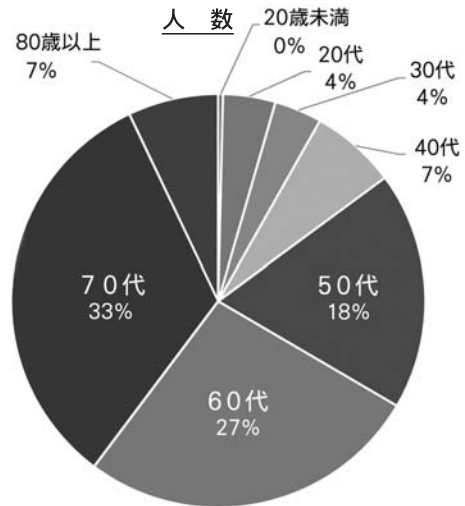
5. 分館巡回人権学習アンケート結果より

※数値は、分館学習参加者(推進員は含まない)

(1) 年代別参加人数(アンケート回答者)

年齢	人数	割合
20歳未満	1	0%
20代	11	4%
30代	10	4%
40代	18	7%
50代	50	18%
60代	72	27%
70代	88	33%
80歳以上	19	7%
合計	269	100%

70代が33%で最も多く、次いで60代27%、50代で18%となっている。50歳以上で85%を占めている。50歳未満が15%と、子育て世代が少なく、60歳以上は67%の状況である。



(2) 各種研修参加状況

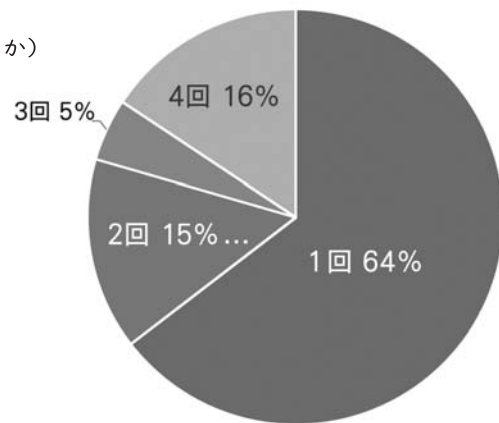
人権研修参加回数の割合

(Q 人権に関する研修等に今回含め1年間に何回参加しましたか)

研修参加回数	人数	割合
1回	173	64%
2回	40	15%
3回	13	5%
4回以上	42	16%
合計	268	100%

年1回の人で64%。2回が15%で、1・2回あわせると80%である。4回以上は16%で数多く参加している人もいる。

研修参加回数と割合



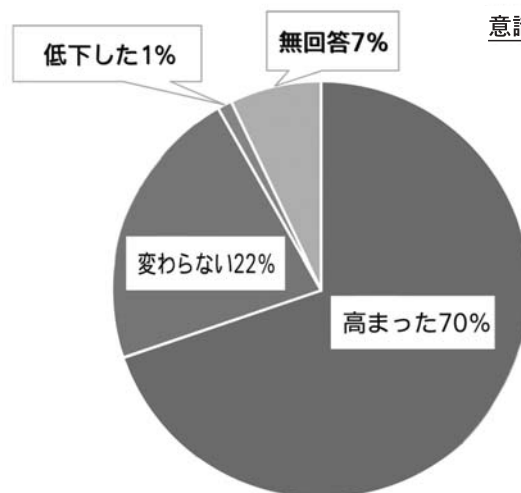
(3) 人権問題に対するの関心等意識の変化

(Q この研修によるあなた自身の人権意識の変化について)

意識の変化	人数	割合
意識が高まった	187	70%
変わらない	59	22%
低下した	3	1%
無回答	19	7%
計	268	100%

人権意識が高まったと答えた人が70%と参加者の人権問題への関心度や意識への高さを感ずる。

意識の変化



6. 終わりに

アンケートを全て掲載できませんでしたが、たくさんのご感想やご意見をいただきました。多くの方々から人権問題をしっかり自分ごととして捉え、つながりを大切にしたい人権尊重の町、居心地の良いコミュニティに向けて、思いにあふれた心温まる素敵なお感想でした。

また、研修会の課題等についてのご意見もいただいておりますので、次年度も継続開催に向けて協議をしてみたいと存じます。夜間の学習会にもかかわらず、地域の方々、各分館長さま、推進員のみなさま、関係者のみなさま方のご尽力・ご協力に感謝し、お礼の言葉といたします。ありがとうございました。

Global Kaiyo (グローバル海陽) だより

The "Global Weekend" was held in Kaiyo Town on November 29-30, 2025. Around 20 ALTs from across the prefecture joined elementary, junior high, and high school students from the Kaifu District for English games, workshops, and sightseeing. Even students who didn't feel confident in English communicated through gestures and smiles, quickly becoming friendly with the teachers. Many said they wanted to "talk more" or "join again," and the two days passed quickly.

The event is scheduled to be held again this year.

It offers a valuable chance to meet teachers from around the world and experience speaking English and learn about different cultures.

Feel free to join the event this year!

令和7年11月29日(土)、30日(日)に、海陽町で「グローバルウィークエンド」が開催されました。県内各地から約20名のALTが海陽町を訪れ、海部郡の小・中・高校生と一緒に、英語を使ったゲームやワークショップ、町内観光など、さまざまな交流を楽しみました。英語が得意でなくても、身振り手振りや笑顔で気持ちを伝え合い、子どもたちは先生たちとすぐに打ち解けていました。「もっと話したい」「また参加したい」という声も多く、2日間はあっという間に過ぎていきました。参加したALTからは、「海陽町の子どもたちの英語力の高さに驚いた」との感想をいただきました。

グローバルウィークエンドは、世界の先生たちとふれあいながら、英語や異文化に親しめる貴重な機会です。

ぜひ、次回の参加をお待ちしています。





図書館長からのお手紙⑤

「プログラミング教室より、AI使い方教室か？」

海陽町立図書館長 田村航也

前回みなさまにお手紙を差し上げてから、特にプログラミング教室について、たくさんのご意見をいただきました。「今どき、プログラミングを一から学習することに、意味があるのか？」というご意見です。

最近、生成AIの発達によって、プログラミングの知識がなくても、AIにプログラムを書いてもらうことが可能になっています。それによって、みなさまのスマートフォンに入っているようなアプリを、AIの力を借りて自分で作るようなこともできます。

その意味では、プログラミングの書き方を学ぶよりも、AIの使い方を学ぶことのほうが、多くの学生や町民のみなさまにとって、有益なのかも知れません。じつさい、「図書館でAI教室を開いてほしい」という要望が寄せられています。

図書館はもちろん、本を扱う場所ですが、①コンピュータやプログラミング言語に関する書籍が多数出版されていること、②プログラミングは「言語習得」の一種であり、読み

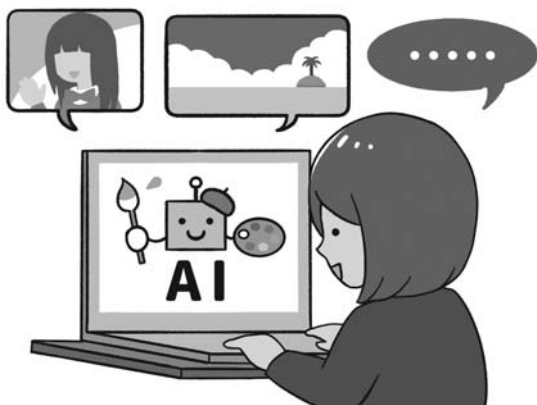
書きに関する行為であること、③町内にコンピュータを専門に扱う社会教育機関（情報センターやパソコンセンター）が存在せず、「情報」という観点から図書館が最も分野のうえで近いこと、という理由から、AIについても現状では図書館が扱うべきものと考えます。生成AIは「スマートフォンの便利な詳細検索機能の一つ」というのがこれまでの一般的な認識でしたが、AIの利用法自体が今後一つの学習分野を形成するほど、AIは急速な進歩を続けています。

みなさまのご意見をいただき、前回のお手紙でお伝えした「プログラミング教室」は、「AI使い方教室」に変更したほうが良いかと考え始めています。AIに関する書籍や、AI利用の基礎知識となるプログラミング等に関する蔵書は、最新のものへの更新を積極的に進めます。これらの書籍を参照・参考図書としながら、「AI使い方教室」を開くことを検討したいと思います。

また、図書館員のアイデアにより、海南図

書館「デジタルえほん室」で、「大人のためのタブレット初心者講習」も企画したいと思います。タブレットを使ったことがない、なかなか親しむことができない、という大人の方向けに、デジタルえほんを利用してタブレット操作に慣れる講習会です。準備がととのいましたら広報しますので、ぜひご参加いただけたらと存じます。

図書館は新年度より、「中学・高校生の読書振興」を強力に推進します。次回は、このことについてお手紙したいと思います。



海陽短歌会

寒空に豌豆の蔓しつかりと竹の小枝をつかみ伸びおり

蛭子 美恵子

霜降の歩道を埋めるどんぐりの足裏に出ずるリズム楽しや

大久保 スエ子

待望の女性総理の出現をいのれば霏霏と雪のふりくる

細野 綾子

豊潤ななんとも言えぬ香を放ち庭の蟬梅今花ざかり

栢岡 節子

日々歩く道のかたわら水色の犬ふぐり咲き春の気配す

小笹 仁子

何事もながら仕事の癖つきて今日も今日とて中途半端なり

桑村 未貴子

温暖化止める手立てはないものか効かぬブレーキで坂下ること

藤川 はやみ

清やかに青をたたえて空広し鴉と鳶がゆるやかに飛ぶ

土谷 公代

穴喰俳句会 二月例会より

眼鏡拭く春がそこまで来たやうな

間戸谷 恵子

弾初めやひとつ覚えの阿波ぞめき

川野 佳代

初日さす海の暮らしの男へと

新井 駿也

しみわたる主役脇役おでん鍋

山本 球子

日脚伸ぶ観音堂に鈴の音

北山 やえ子

三度吹き含むひとくち七日粥

外山 千佳

山川の裾野くつきり日脚伸ぶ

寺崎 照代

初雀枝に遊びてこぼれ落つ

新井 久実

春の帯うしろ手に結ぶ母の帯

朝賀 ます美

はんかちの刺繍も古りし冬桜

高戸 眞理子

赤ん坊の大きなあくび春隣

住登 美鶴

杓文字もつ一瞬に聞く寒の蟬

元木 朱子

海南俳句会

初詣鳥居前にて深呼吸

新居利之

お節並べスマホで写す今日日の子

橋本 董

福豆を拾ふ子もなく撒いてをり

田中霜月

数珠置きしガラス机や冴え返る

山本俊雄

水鳥の浮かぶ澱みも雲写す

山本半途

網直すふしくれの手に冬日射す

若山 恵美子

新年や刀に写る意は新た

吉野 住人

豆撒きの鬼のお面の優しき目

森 弥生

煙管音コンと鳴らして奥火鉢

藤川 はやみ

日だまりにまあるくなって鴨並ぶ

長岡 菊美

盛り上がる持病の話日向ぼこ

吉田 なずな

海部俳句会

紅梅ふくらむ太枝ふとえだ生けて心足る

南 歌子

手水舎てみずやに氷張りたる初詣

佐藤 美代子

様々のシャツを着こなし冬ごもり

穴戸 道子

柚子たちの付かず離れず浮かびけり

川野 照美

着膨れきぶくを恥じ入る歳も超えてゆき

穴戸 保夫

初雪や窓と口開けいちご味

麻 三

東風吹けど白く厳しき僧の眉

山 桜子

白息しろいきで交わすあいさつゴミ置き場

西本 公明

前回2月号(No.107)の記事に、誤りがありましたので訂正いたします。

25頁…(誤)新居久実 ↓ (正)新井久実

26頁…(誤)杯おきて ↓ (正)杖おきて

たいへん失礼いたしました。記してお詫び申し上げます。

多良古墳 1号墳 発掘途中経過展

—— 基底石が語る「前方後円墳」の確証 ——



令和7年11月20日



令和7年12月24日



令和8年1月14日



令和8年1月15日



令和8年1月26日



令和8年2月20日



調査した
“くびれた部分”

並んでる
石の様子を
見にぜひ
博物館に
お越し
ください

令和8年2月26日

令和8年 4月25日(土)より展示

試掘調査で前方後円墳と確認されていましたが、その構造を裏づける石の配置は見つかっていませんでした。

今回の発掘で、崩れた土層の下から、前方部と後円部をつなぐ“くびれた部分”を中心に、古墳の基礎を形づくる石列が確認され、**当時の人々が計画的に築いた前方後円墳であることが明らかになりました。**

展示では、古墳づくりの技術を示す石の並びや発掘現場の写真をご覧いただけます。



なになに？
石が
並んでるって？
どういふこと？
博物館に
見にいこう！

【会場】 阿波海南文化村
海陽町立博物館

〒775-0202 徳島県海部郡海陽町四方原字杉谷 73
TEL0884-73-4080 FAX0884-74-3504

【開館時間】 9:00~17:00(入館は16:30まで)

【展示会場】 海陽町立博物館 企画展示室

【休館日】 毎週月曜日

(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館日)

【入館料】 大人 300円(200円)・65歳以上 150円

障がい者 150円 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金